

## 事業別環境配慮指針【河川等】

基本目標	環境配慮事項	個別配慮事項	ページ	
<b>【循環】</b> 環境への負荷が少ない循環型社会の広島	<b>大気環境， 水環境の保全</b>	場所の選定は，地域環境の保全，土地利用等との整合を図る。	6 8	
		水質の自浄作用に配慮した構造とする。	8 6	
		建設機械，車両の稼働等に伴う周辺環境への影響の低減に努める。	7 5	
		工事中の汚水，濁水の発生の低減に努める。	7 8	
		工事の集中を避け平準化を図る。	8 0	
	<b>廃棄物の発生抑制， リサイクルの推進</b>	建設廃棄物等の発生抑制，分別の徹底，再資源化，適正処理に努める。	9 0	
		再生骨材，再生砕石等の再生資源の利用に努める。	9 2	
		建設発生土の発生抑制，有効利用，適正処理に努める。	9 3	
	<b>【地球】</b> 地球環境の保全に貢献する広島	<b>地球温暖化の防止</b>	CO <sub>2</sub> の吸収，ヒートアイランド現象の緩和等に資するため，施設の緑化に努める。	9 5
			熱帯産木材の使用削減，間伐材の有効利用など森林資源の保護に努める。	9 8
工事車両や建設機械のアイドリングストップ等の励行に努める。			9 9	
<b>省資源， 省エネルギーの推進</b>		自然エネルギー，省エネルギータイプの施設の導入に努める。	1 0 1	
		省資源，省エネルギーに配慮した建設資材の活用を努める。	1 0 3	
<b>【共生】</b> 自然と人がふれあう潤いのある広島	<b>自然環境の保全</b>	貴重な動植物の生息・生育地の消失の回避に努める。	1 0 6	
		回避できない場合は，自然環境の改変の少ない形状や代替措置に努める。	1 0 7	
		生態系を維持するための適切な水量を確保する。	1 1 8	
		生物生息空間のネットワークの確保を図る。	1 1 0	
		現河川を極力生かし，自然環境の改変の少ない施設，構造の採用に努める。	1 1 3	
		工事に伴って一時的に改変する自然環境の復旧に努める。	1 1 7	
		多自然型川づくりにより，河川環境の保全・創造に努める。	1 1 9	
	<b>快適な生活空間の 創造</b>	動植物の生息・生育場である多様な水際線，低水路，河床等の維持・創造に努める。	1 2 8	
		人がふれあえる水辺環境を創造する。	1 2 6	
		地場産素材，天然素材の利用や植栽に努め，周辺景観との調和を図る。	1 2 2	
		良好な景観を形成している樹木などの存置や移植，現存植生や季節感を考慮した植栽により，積極的な緑の保全と緑化に努める。	1 2 7	
		<b>歴史的景観の保全， 文化遺産の保護</b>	歴史的景観の保全に努める。	1 3 4
			文化遺産の保護に努める。	1 3 4